あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

芥川水辺だより

Vol.22
2015年
夏号

～わんどの観察会～　芥川・淀川の合流点

4月18日

芥川と淀川との合流点（唐崎地区）では、昔あった「わんど」などの湿地性植物が生息できる冠水帯を蘇らせ、本来の川辺の姿を取り戻すために、国土交通省が整備を行なっています。わんどは、二枚貝類の生息場所、タナゴ類の産卵、稚魚の成育の場として設けられた浅い池です。

今回は、平成22･23年度整備のわんどにどんな生きものがいるかを、調べてみました。

当日は快晴。真っ青な空と水面に水辺の植物の緑、カラシナの黄色が映え、カラッとした気持ちのいい、そして暑いほどの天気でした。広報やチラシを見て参加された方、高槻第七中学校自然科学同好会など総勢43人の参加がありました。

まず、国土交通省の上野専門官から、「平成22年から24年にかけて順調に在来種が増えていたが、平成25年9月の大雨時にブラックバスやブルーギルなどの外来種が入り込んでしまい、元々いた在来種がほとんどいなくなってしまった。」という説明を受けました。わんどに移動して水面に目を凝らすと、池底には貝が移動した筋がたくさんあり、手でつかむことができました。貝掘りを使うとたくさんの貝が入りました。次は大阪府水生生物センターの山本研究員から、生きものの特徴や子孫を増やすために他の生きものを利用すること、多くの生きものが生活するには、豊かな環境が必要であるなどの説明を受けました。

観察会で魚類が3種、貝類が6種、甲殻類が3種、水生昆虫類などが6種の計18種類のいきものを見つけることができました。

編集・構成：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部
事務局：NPO法人芥川倶楽部　ホームページ　http://akutagawaclub.web.fc2.com/　ブログ　http://akutariv.blog85.fc2.com/
平成27年(2015年)7月 発行：　高槻市　都市創造部　下水河川企画課　TEL　072(674)7432

●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協力団体（国（近畿地方整備局）第２号）に認定されています●

～平成２７年度事業のお知らせ～

5月　アユの溯上調査　5月15日～7月15日まで

7月　芥川・人と魚にやさしい川づくりネットワーク（芥川倶楽部）総会（4日）

お父さんのための魚とり講座（25日）

10月　アユの産卵場整備（17日）

11月　遊歩道イベント（14日）

12月　ミズヒマワリ駆除大作戦（5日）

3月　第11回芥川クリーンアップ大作戦（26日）

年間を通じて、子どもから大人まで楽しむことのできる様々なイベントを開催しています。イベントに参加し自然を体感できる良い機会がたくさんあります。
是非、ご参加ください！！

～芥川倶楽部　定例活動のおしらせ～

あくあぴあ芥川前での澪筋づくり、竹林の整備など、子どもから大人まで、どなたでも参加することができます。お気軽にご参加ください。

◆時間：毎月第3土曜日　午前10時～
◆集合場所：あくあぴあ芥川　1階　水上ステージ前

時間・集合場所が変更になる場合がありますので、あくあぴあ芥川（072-692-5041）へご確認ください。

～お父さんのための魚とり講座～

平成27年7月25日（土）10時～（雨天中止）

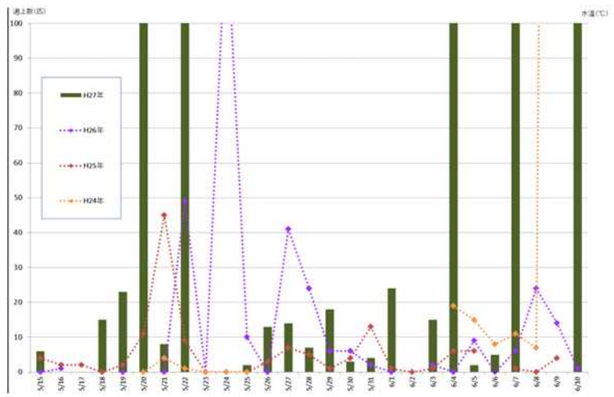
あくあぴあ芥川と芥川倶楽部の共催でお父さんのための魚とり講座を実施します。

この講座は、夏休みの始まりに、魚の上手なとり方を子どもには内緒でこっそり伝授しお父さんたちを子どもたちのヒーローするためのものです。

まず、お父さんたちには、芥川で魚のとり方の講習と練習を行います。その間に子どもたちはあくあぴあ芥川で、実際の魚をみながら芥川にいる魚の勉強をします。子どもたちと合流してからは、いよいよお父さんたちの腕の見せ所です。川に入って子どもたちに魚のとり方を伝授します。昨年は7種類の魚がとれましたが、今年は何種類の魚や水生生物を捕まえることができるか楽しみですね。

◆集合場所：あくあぴあ芥川（1階水上ステージ前）
◆講師：花崎　勝司（あくあぴあ芥川主任研究員）
　　：福田　真司（　芥川倶楽部　）
◆申込み：7月3日　9時～
　申し込み連絡先はあくあぴあ芥川（072-692-5041）まで
◆持ち物：水筒、濡れても良い服、靴
◆雨天中止の判断は、当日、午前7時に行います。情報は『芥川倶楽部ブログ』http://akutariv.blog85.fc2.com/に掲載します。

～アユの溯上調査実施中！調査ボランティア大募集！！～



今年も、市民ボランティアや摂南大学の学生のみなさんと一緒に、アユの溯上調査を実施しています。昨年の芥川に溯上してきたアユは、2,300と例年に比べ少なく残念でしたが、今年は5/15～6/10までで、約7,000匹溯上しています。

結果がどうなるか楽しみです。

調査期間：5月15日～7月15日
調査時間：　9時～15時
調査場所：芥川大橋上流の堰の魚みち
　　（高槻市芝生町2丁目地先）
調査方法：ボランティア調査員2名で魚みちを通過する魚を目視でカウント
そ の 他　：ボランティア保険に加入
　　（費用：主催者負担）
問 合 せ：茨木土木事務所　地域支援・企画課
　　（TEL:072-627-1121）

川づくりや各種イベントに一緒に参加してくれる方を募集しています。
イベント等の情報は芥川倶楽部ブログで、紹介していますので、ぜひご覧ください。
ブログ :http://akutariv.blog85.fc2.com/　　HP :http://akutagawaclub.web.fc2.com/
e-mail : akutagawa0726@yahoo.co.jp

～～～「芥川」はみんなの川です　「芥川」をきれいにしましょう　ゴミを捨てないようにしましょう　～～～

～第10回芥川クリーンアップ大作戦～

3月21日

このイベントは芥川の清掃を行い、綺麗になった芥川で天然のアユを迎え入れようと実行委員会を立ち上げ企画したものです。今年は、淀川管内河川レンジャーの協力により、大塚地区淀川河川公園、三島江地区淀川河川公園など、淀川の2会場が新たに加わるなど、活動の輪が広がっています。

当日は、天候にも恵まれ、6会場で関係団体、地元自治会、行政など20の団体、組織から約350人の参加がありました。芥川大橋右岸下流では9時半過ぎに集合、多くは毎年参加されている常連の方で、お互いの再会と健康を祝し合っていました。注意事項などの説明を受け、意気揚々と清掃活動に出発しました。芥川と女瀬川の合流地点では、空き缶や空きビン、ビニール袋などの生活ゴミから自転車やタイヤなどの大型ゴミなど、さまざまな物が捨てられており、その量の多さに驚きながらも、声を掛け合って、元気よく清掃活動を実施しました。堤防の上、枯草が多い河川敷など一部は川辺まで踏み入り、それぞれ手分けして段取りよく清掃活動を進めました。今年は新たに津之江公園内の清掃も行いました。その結果、約250袋のゴミを回収することができました。清掃終了後は、災害非常食の炊き込みごはんと味噌汁をおいしく頂きました。参加者は、「きれいになった川を見ると、清々しい気持ちになる」と感想を述べていました。

来年は3月26日にお会いしましょう。

定例活動報告　～山はここまで変わっています～

第3土曜日開催

あくあぴあ芥川前の芥川と周辺の竹林を活動拠点として、芥川に棲む動物等の調査、みお筋づくり、竹林の整備などを行っています。

あくあぴあ芥川の裏山では、「ネイチャーたかつき」、「竹和の会」のみなさんと一緒に、遊歩道周辺の竹林の間伐をずっと行ってきました。竹林の伐採はおおむね一段落したので、昨年から雑木林に自然観察路を作り、芥川まで繋がる“みちづくり”を進めています。

雑木林の中の平坦なところを踏み固めて“みち”をつくり、急な斜面には、手作りの丸太の階段を設置しています。丸太の杭を適当な長さに切り、斜面に打ち込み、丸太を針金で結んで踏み段を作っていきます。

観察路に邪魔になる立木や枯れ竹などは、逐一伐採し、人が通れるスペースを作っていきます。

遊歩道や観察路は、少し放っておくとすぐに雑草で覆われていくので日々のメンテナンスが大切です。このような毎月の地道な作業が観察路の整備には、とても重要なのです。

今後の定例活動での取り組みでは、観察路の脇に伐採した丸太を利用したベンチなどを置き、将来的には、あくあぴあ芥川の裏山を通って、みんなが「芥川」まで歩いていけたらいいなと思います。

～こいのぼりフェスタ1000に出展しました～

4月29日

今年も茨木土木事務所と共同で、芥川の魚の展示と芥川の魚みちづくりや川づくりなどのパネル展示を行いました。

芥川に棲息する12種類の魚を展示した水槽は大人気で、子どもから高齢者の方まで興味津々で中を覗いていました。中にはじっと覗き込んで動こうとしない子どもや「昔はよく芥川で魚を採ったな！」と昔を懐かしむ声もありました。また、たかつき環境市民会議水環境保全グループが保護を進めているタナゴ類のパネルの前では、「子どもの時には、こんなん何処にでもおったんや。このごろ見んなー」との感想がありました。

茨木土木事務所は、防災・耐震・防犯・水辺の学校や芥川での遊歩道整備のパネルを展示を行いました。また、耐震模型「ぶるる」を使ったデモンストレーションを行うなど、来場された方へ防災に対しての意識啓発を行いました。

パネル展示を見た方にクイズに挑戦してもらいました。正解された方には抽選で、保存食や防犯グッズを配布しました。子どもたちには、絵を描いたり、ぬり絵をして作成する缶バッジが大好評で、子どもから大人までブースを楽しんでいただきました。

～あくあぴあふれあいフェスタ～

6月6日

今年もブースを出展しました。このイベントは、自然や教育、芥川とのふれあいをテーマに活動する団体があくあぴあ芥川においてブース出展し、子ども向け工作や催しを行うものです。

芥川倶楽部のブースでは、「魚釣りゲーム」を行いましたが、終日たくさんの子どもたちでにぎわいました。ブルーシートを床に敷いて川に見たて、そこに魚の写真をラミネート加工したものを並べます。口先にはクリップをつけておき、それを磁石のついた竿で釣り上げます。魚の種類は約10種類。みんな芥川に生息している魚ばかりです。制限時間内に何匹つれたかを競い合います。釣った後はお勉強タイム。写真の裏に書いてある魚の名前を覚えてもらいます。魚釣りゲームは、慣れるまでは難しく、釣竿を手に苦闘していました。しかし、慣れてくると次々魚を釣り上げる子どもたちも見られました。終了までに、約150人の子どもたちに参加してもらいました。イベントを通じ、芥川の自然や芥川倶楽部の活動を少しでも知ってもらおうと啓発活動に取り組んでいます。そして、子どもたちが芥川に興味を持ち、立派な「川ガキ」に成長してくれたらうれしいなと思います。

新川ヒメボタル観賞会

5月23日

ヒメボタル観賞会は今年で7回目を迎えました。今年は、降水確率40％の予報で、観賞会を決行するか中止かの決断を行うのが大変でした。

午後4時、関西大学のボランティアの学生が集合し、新川遊歩道にて新川ヒメボタルと花を守る会が用意した手作り灯籠で「かがやけホタル」の文字と絵文字を芥川河川敷に並べました。午後5時40分、ホタルを見たことのない学生にヒメボタルの事を少しでも学んでもらおうという思いで作成した紙芝居を見ながら夕食を食べました。午後6時30分に、手作り灯籠のロウソクに点火し、薄暮の河川敷に綺麗な文字が浮かび上がりました。横には地元「高西子供部」が灯した「光の環」が見事に咲き誇りました。気候の変化に敏感なヒメボタルは、なかなか姿を見せてはくれませんでした。この日ホタルの数は少なかったが、ホタルを見つけた子どもたちの「ホタルおった～」と興奮する声が辺りに響き渡りました。大人も童心に返って草の中を夢中で覗き込む人、明るすぎる草むらの暗闇に数少ないヒメボタルを求め写真に収める人もいました。ヒメボタルの小さな光に癒されたひとときでした。約350余名のホタルを愛する皆さんありがとうございました。